



令和4年度

妙典の教育

妙典小学校運営協議会



◆学校経営の理念

すべての子どもを**HAPPINESS**に



自己実現の達成

「主体性」を発揮しながら、自分らしく生きること



◆学校教育目標

主体性を育てる

～自主・自律・共生

◆主体性とは

自分で決めて、自分で実行する力

(認知→判断→行動)

自分の願いや目標を持ち <自主>

自分で考え、判断、行動し <自律>

多様な人々と協働しながら <共生>

自らの可能性を発揮していく <資質・能力>

◆目指す子ども像

「させられないで、する子ども」

「させられる仕事」から「する仕事」に変わるとき
苦しきは喜びに変わり、生きがいに眼を輝かせる」

— 東井義雄(教育者 1912~1991) —

◆目指す子ども像 「自主・自律・共生」

▲自主 いけいけはあと

- 自分から進んで行動できる
- 自分で考えたり、判断したり、工夫したりできる
- どんなことでも、前向きに考えて行動できる



▲自律 しっかりはあと

- 自分で決めたことは、自分で守ることができる
- 自分の行動や心を自分でコントロールできる
- 「あたりまえ3ヶ条」を守ることができる

①時間厳守 ②整理整頓 ③挨拶励行



▲共生 あったかはあと

- 他人の気持ちがわかる
- 他の人を尊敬できる
- 他の人と協力しながら行動できる

【共感】

【敬意】

【協働】



◆目指す学校像

— 信頼される学校 —

- 子どもや保護者の思いや願いに寄り添う学校
- 安全・安心で、教育環境の整った学校
- 保護者、地域と連携し地域とともに歩む学校

◆ 目指す教師像

— チーム「妙典小」 —

- 多様性を尊重しながら、一人一人の子どもを理解し、
人権意識を持って子どもを主役にできる教職員
【子どもを主役にする教職員】
- 働き方改革を進めるとともに、それぞれのよさや専門性を
生かしながら協働し、喜びや困難を共有する教職員
【協働する教職員】
- 自己を見つめ、課題意識と向上心を持ち、研鑽に励む教職員
【学び続ける教職員】

◆教職員の基本姿勢

■ 凡事徹底

— 松下幸之助、鍵山秀三郎 —

- 当たり前前を当たり前前にやる
- 簡単なこと、だれにでもできることを徹底してやる(平凡を非凡に努める)

■ 時を守り、場を清め、礼を正す

— 森信三(教育哲学者 1892~1992) —

- 時間厳守、整理整頓、挨拶励行

◆4つの重点目標と12のアクション

★4つの重点目標

- (1) 確かな学力 → 主体的な学び
- (2) 豊かな心 → 認め合う仲間
- (3) 健やかな体 → 健康安全のセルフマネジメント
- (4) 信頼される学校 → 寄り添う支援

◆4つの重点目標と12のアクション

★12のアクション

(1) 主体的な学び

- ① 生徒指導の機能を生かした授業
 - ・ 自己存在感を与える
 - ・ 自己決定の場をつくる
 - ・ 共感的人間関係を基盤にする
- ② ICT(タブレット)活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ③ 家庭学習(自学)の工夫

◆4つの重点目標と12のアクション

★12のアクション

(2) 認め合う仲間

- ④ 学級経営の充実
 - ・ 多様性の尊重
 - ・ 自己有用感、自己効力感の育成
- ⑤ 道徳科を要とした道徳教育の充実
 - ・ 「考え・議論する」学習活動
- ⑥ 豊かな体験活動

◆4つの重点目標と12のアクション

★12のアクション

(3) 健康安全のセルフマネジメント

⑦ 自ら運動に親しむ資質・能力の育成と体力向上

- ・教科体育の充実
- ・運動の日常化

⑧ 健康安全教育の充実

- ・基本的な生活習慣
- ・食育
- ・危険回避能力

◆4つの重点目標と12のアクション

★12のアクション

(4) 寄り添う支援

- ⑨ 子ども支援体制の充実・強化
(子ども支援部会、ケース会議、児童・保護者面談、児童アンケート等)
- ⑩ 保護者・地域と連携した教育活動の展開
(生活科、総合的な学習の時間、学校行事等)
- ⑪ 適時適切な情報発信と学校公開(授業参観、懇談会等)による開かれた学校づくり
- ⑫ 学校運営協議会での教育ビジョンの共有並びに学校評価による学校経営改善の推進